

# 令和7年度若手指導者養成研修会を開催

10月21日（火）に、県内中学校・高等学校の運動部の顧問や生徒を対象にして、令和7年度若手指導者養成研修会が開催されました。

研修会では、運動部活動におけるウェルビーイングの実現をテーマに講演と意見交換を行い、指導者・生徒双方が部活動の意義や課題を共有し、今後の改善策を考える機会になりました。

## 1 講 師

鈴木 寛 氏（東京大学 公共政策大学院 教授）



## 2 参加者

高等学校指導者 31校 41名

中学校指導者 16校 16名

高等学校生徒 21校 42名

## 3 内 容

### (1) 講演「運動部活動におけるウェルビーイングの実現」

ウェルビーイングとは、「充実し、満足した、幸福な状態」を表す言葉です。スポーツ基本法改正により、ウェルビーイングはスポーツの意義としても重視されています。

講師の鈴木寛氏は、部活動が「板挟み」と「想定外」への対応力を育む場であり、これまでの大人主導から生徒主導へと転換する必要があること、そして、内発的動機付けに基づいて、好きなことを夢中で探究し続けることの重要性を強調しました。

### (2) 研修「部活動におけるウェルビーイングを実現するために」

指導者と生徒が班ごとに部活動の課題を共有し、解決策を検討しました。

参加者は、双方の視点の理解を始め、部活動の意義や課題など多くの気づきを得て、すぐに実践したい取組として、対話を増やすことや生徒主体の活動推進などを挙げました。

## 4 主 催

千葉県教育委員会、千葉県競技力向上推進本部、

千葉県小中学校体育連盟、千葉県高等学校体育連盟



振返りアンケートでは、講演理解度平均 4.55、研修会満足度平均 4.71（いずれも 5 点満点）と高評価を得ました。

お問い合わせ先：教育振興部保健体育課高校総体準備班